



K.G.H. REVIEW

発行 関西学院高等部
〒662-8501
所在地 兵庫県西宮市上ヶ原

院長メッセージ

念ずれば花開く

関西学院 院長 中道 基夫



どこで聞いたのか忘れませんが、偶然耳にした「念ずれば花開く」という言葉が私の心に深く残っています。だぶん後になって、この言葉は仏教詩人である坂本真民氏の代表作の一つであることを知り、念ずれば花開く、母がいつも口にしていた。このこ

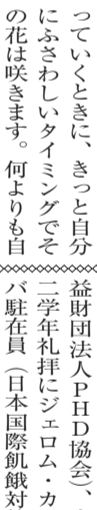
とばを わたしもいつのころからか となえるようになった。そうしてそのたび わたしの花がふしぎと ひとつひとつ ひらいていった。この言葉の対極に学習性無力感というものがあります。失敗や失望を繰り返すこと、何をやっても無駄だということを実感して、諦めてしまうこと。もちろん、そういう経験をすることもありますが、何をやってもうまくいかないと諦めるのも、諦めてしまえば、一歩前進はできません。しかし、一歩進めば一歩近づきます。そして、最終的には頂上に到達します。聖書の中にも、「どんな願い事でも、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。」(マタイ18:19) という言葉

秋季宗教運動

秋季宗教運動は、十月三日から二十七日に「あなたがたは地の塩である。」海外を近く」を主題に開かれまし

クリスマス礼拝

今年度は新型コロナウイルスによる感染状況が落ち着いたこと、四年ぶりに全校生徒が集いクリスマス礼拝を執り行うことができました。



写真部 全国総合文化祭 出場決定

この度、「挑発」という作品が兵庫県総合文化祭写真部門において特選に選ばれ、全国総合文化祭への出展が決定しました。

写真部 全国総合文化祭 出場決定

夏の岐阜県で開催される全国総合文化祭に出場します。私たち三年生は残念ながら出場できないので、後輩たちに引き続き研究をがんばってもらいたいと思います。

図書部 優秀賞活字文化推進会議賞

私は読書の卒業論文執筆活動で日本の鉱山業がどの品ではなく、友達と撮影会に行つた際に偶然撮れた作品です。写真と聞くと、ある瞬間を狙って撮るものというイメージがあるかもしれませんが、必ずしもそうではありません。

理科部 部長 小島 祐樹

私たちが理科部は、昨年十一月に開催された県総合文化祭自然科学部門で生物分野最優秀賞をいただきました。

水泳部 全国インターハイ出場

私は九月に行われた鹿児島国体において、少年A女子五〇m、一〇〇m自由形、フリーリレー、メドレーリレーに出場しました。

ダンス部 三つの全国大会を終えて

我々ダンス部は顧問の荒木先生、相馬先生、西田先生のご指導のもと、日々練習に励んでまいりました。

ラグビー部 男子セブンスユースアカデミー

九月十五日から十七日に第六十四セブンスユースアカデミーの合宿に参加しました。

書評 図書部

「心こそ迷わず心なれ、仰する」というのは、死ぬことと同義である」という意味になり、講師の先生が語られたこれらの言葉がとても印象的でした。

理科部 出場決定

私たちが理科部は、昨年十一月に開催された県総合文化祭自然科学部門で生物分野最優秀賞をいただきました。

写真部 全国総合文化祭 出場決定

この度、「挑発」という作品が兵庫県総合文化祭写真部門において特選に選ばれ、全国総合文化祭への出展が決定しました。

図書部 優秀賞活字文化推進会議賞

私は読書の卒業論文執筆活動で日本の鉱山業がどの品ではなく、友達と撮影会に行つた際に偶然撮れた作品です。

水泳部 全国インターハイ出場

私は九月に行われた鹿児島国体において、少年A女子五〇m、一〇〇m自由形、フリーリレー、メドレーリレーに出場しました。

ダンス部 三つの全国大会を終えて

我々ダンス部は顧問の荒木先生、相馬先生、西田先生のご指導のもと、日々練習に励んでまいりました。

理科部 部長 小島 祐樹

私たちが理科部は、昨年十一月に開催された県総合文化祭自然科学部門で生物分野最優秀賞をいただきました。

写真部 全国総合文化祭 出場決定

この度、「挑発」という作品が兵庫県総合文化祭写真部門において特選に選ばれ、全国総合文化祭への出展が決定しました。

図書部 優秀賞活字文化推進会議賞

私は読書の卒業論文執筆活動で日本の鉱山業がどの品ではなく、友達と撮影会に行つた際に偶然撮れた作品です。

水泳部 全国インターハイ出場

私は九月に行われた鹿児島国体において、少年A女子五〇m、一〇〇m自由形、フリーリレー、メドレーリレーに出場しました。

ダンス部 三つの全国大会を終えて

我々ダンス部は顧問の荒木先生、相馬先生、西田先生のご指導のもと、日々練習に励んでまいりました。

ふりりん

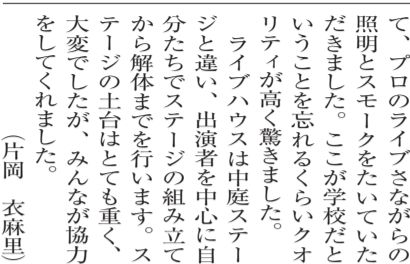
「心こそ迷わず心なれ、仰する」というのは、死ぬことと同義である」という意味になり、講師の先生が語られたこれらの言葉がとても印象的でした。

文化祭

今年度は昨年度までと異なり、多くの企画を行うことが出来た。特に変化した点は、食品企画とライブハウスが復活したこと、そして保護者のみならず、多くの人を迎え入れて開催出来たこと。食品企画の再開に当たって、執行委員で多くのことを話し合いました。コロナウイルスの影響で食品企画の前例を知らない私たちにとって、実現可能な企画の判断や金券の発行は、とても大変でした。しかし、生徒一人一人がマニュアルに則って動いたことで、大きなトラブルが起きず、文化祭を開催できたことに執行委員一同とても感謝しています。また、ライブハウスではバンドを始めとするステージを行いました。ここでは、観客、出演者が出ず熱気に包まれており、秋という少し肌寒い季節を感じさせないほど盛り上がりを見せていました。

復活！ライブハウス

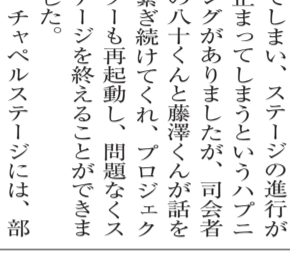
今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの



(片岡 衣麻里)

校内ステージ

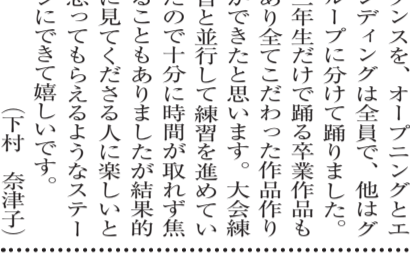
今年度は、十一月二日に礼拝堂で全校生徒が鑑賞する校内ステージを、十一月三日の一般公開の日に、礼拝堂でも開催することができました。校内ステージには、選択授業団体・部活動団体合わせて八団体が出演してくれました。今年度から新たな演出を加えてくれた団体もあり、個性豊かなステージを作り上げてくれました。加えて、一ヶ月以上前から司会者を募集し、ミーティングを重ね、幕間にアカペラでの歌唱、プレゼンなど企画、動画発表を行いました。とてもバラエティ豊かな礼拝堂ステージにすることができました。また、ステージ中にプロジェクターが故障してしまい、ステージの進行が止まってしまおうというハプニングがありました。司会者の八十人と藤澤くんが話を繋ぎ続けてくれ、プロジェクターも再起動し、問題なくステージを終えることができました。



(前田 悠翔)

最優秀ステージ

我々ダンス部は顧問の指導の元、日々練習に励んでいました。文化祭のステージでは大会とは違ったジャンルのダンスを、オープニングとエントランスを、全員で、他はグループに分けて踊りました。三年生だけで踊る卒業作品もあり全てこだわった作品作りができたと思います。大会練習と並行して練習を進めていたので十分に時間が取れず焦ることもありました。結果的に見てくださる人に楽しんでもらえるようなステージにできて嬉しかったです。



(下村 奈津子)

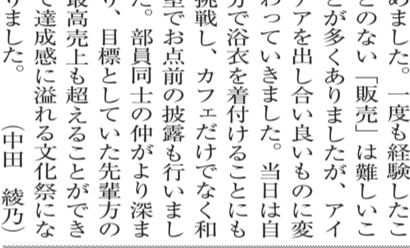
炎の体育会K.G

炎の体育会K.Gは学年ごとの縦の結びつきを強化すること、運営等において生徒が活躍する場を設けることで生徒全員の親睦を深めて学校全体の一団感を生み出すことをコンセプトに企画・準備・運営をしてきました。行事を終えて感じたことは、生徒のみなさんが競技に対して真剣に向き合い盛り上げてくれたり、たくさんのスタッフが協力してくれたり、スタッフ以外の生徒が助けたり、理想を超える行事となりました。また前先生をはじめとする準備段階から当日、その後までアドバイスや指導、運営などを助けていただいた先生

方本当に感謝しています。私たちの次の目標はこの炎の体育会K.Gが恒例行事として受け継がれていくことです。みなさんがこの行事を関西学院高等学校の伝統として築いていくことを願っています。炎の体育会K.Gは全員共通の目標です。この学年の行事を準備し始めたのは一年前の十一月ごろのことです。先生方に様々なご意見を伺い、常に試行錯誤をしていました。アリーナを学校として借りることができ、学校側でも公式に日程を確保していただき、ついに本格的に活動が開始しました。何度も先生方に指摘をしていただき、何度も企画書をはねかえされ、厳しい言葉を幾度となくいただきました。何百という時間をかけて、数えきれないほどの企画書や資料を作成し、沢山の連携を重ね、本当に全員が疲労困憊状態でした。ですが当日、大きな声援が聞こえ、笑い声が聞こえ、笑顔の絶えない高等部生を見ました。何百という時間をかけて、数えきれないほどの企画書や資料を作成し、沢山の連携を重ね、本当に全員が疲労困憊状態でした。ですが当日、大きな声援が聞こえ、笑い声が聞こえ、笑顔の絶えない高等部生を見ました。

最優秀クラス展示

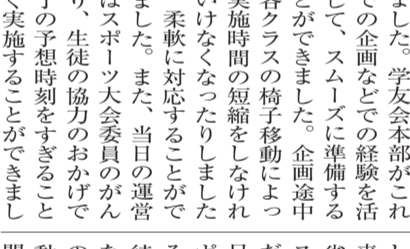
三年I組はチャイナカフェをコンセプトに、小籠包と王老吉という中国で人気と言われている缶ジュースを販売しました。準備期間には教室内に二段の回転テーブルや大きなパンダを、入口出口に中華門を作るなど内外装にもこだわりました。クラス全員が頑張りました。クラス全員が頑張りました。クラス全員が頑張りました。



(鳥 凜花)

最優秀有志展示

我々茶道部は四年ぶりの飲食復活とあって、部員全員がわくわくしながら準備を始めました。一度も経験したことのない「販売」は難しいことが多くありましたが、アイデアを出し合い良いものに変わっていききました。当日は自分で浴衣を着付けることにも挑戦し、カフェだけでなく和室でお点前の披露も行いました。部員同士の仲がより深まり、目標としていた先輩方の最高売上も超えることができて達成感に溢れる文化祭になりました。



(中田 綾乃)

新会長挨拶

二年E組 笹田 桃子 この度、二〇二四年度学友会会長になりました。二年の笹田桃子です。私は一年生の五月から学友会執行委員として二年生では学友会総務として学友会活動をしてきました。なぜ私が学友会活動をしているかというと、それは、やりがいを感じるからです。この「やりがい」というのは、企画を考えて実行しその後に参加してくれた生徒から「楽しかった、企画お疲れ様でした」といった言葉をかけてもらえた時に感じます。学友会活動をしていて初めて感じたのは、去年までグリーンクラブに所属し、歌って、歌って、歌う日々を過ごしていましたが、そんな私がなぜ学友会副会長になろうと思ったのか。それは、私が高等部で感じた「生徒と学友会長の間にある温度差とずれ違い」を自分がその生徒と学友会長の間に近づけていきたいと思ったからです。

私が二〇二四年度学友会活動でやりたい大型企画は、二〇二三年度に行った「炎の体育会K.G」のような体育会企画、文化祭期間に行った「友ゲッチュ企画」の主に二つです。この二つの企画に共通することは「縦の繋がりを意識している」ということです。部活動での先輩後輩関係はあったとしてもそれ以外では、実際にこの一年でどのようなことをしていくのかという点ですが、まず一つは、「現在存在する『意見箱』」をより生徒が学友会に意見を伝えるやすい形にする」というのを選挙時に公約に掲げ、それを一年かけて実現させたいです。次に二つ目は「縦のつながり」を、ただ行事だけでなく、日常にもそのつながりを持てることです。昨年度の学友会では、「炎の体育会」などの「行事」を通じて「縦のつながり」をこの高等部に持たせようとしていたのですが、それが私は「行事」の中だけのものに感じ、またその行事内でも「縦」のつながりを深めることができていたかと言われれば、どうしても不十分で私はグリーンクラブにいたの

今年度私たち学友会が掲げたスローガンは「switch」です。このスローガンには今年度の高等部を切り替える年になりたいという思いが込められています。例えば毎週のアツセンブリーなどで、去年はできていなかった、話をしっかりと聞く場面、静かに聞く場面、廊下ですれ違ったら挨拶するように言ったと言った声や、廊下ですれ違ったら挨拶するように言ったと言った声を聞いて嬉しく思いました。友ゲッチュ企画ではさらに一緒に写真を撮って貰う方もいて他学年との交流の機会を持つことができたと感じました。今年度はさらに「縦の繋がりを意識している」ということを、部活動での先輩後輩関係はあったとしてもそれ以外では、実際にこの一年でどのようなことをしていくのかという点ですが、まず一つは、「現在存在する『意見箱』」をより生徒が学友会に意見を伝えるやすい形にする」というのを選挙時に公約に掲げ、それを一年かけて実現させたいです。次に二つ目は「縦のつながり」を、ただ行事だけでなく、日常にもそのつながりを持てることです。昨年度の学友会では、「炎の体育会」などの「行事」を通じて「縦のつながり」をこの高等部に持たせようとしていたのですが、それが私は「行事」の中だけのものに感じ、またその行事内でも「縦」のつながりを深めることができていたかと言われれば、どうしても不十分で私はグリーンクラブにいたの

スポーツ大会

今回のスポーツ大会では横の繋がりを意識し、各クラスごとの絆を深めようとした。競技は球技をメインにサッカー、バスケ、ドッジボール、リレーと四競技を実施しました。当日は大きく盛り上がり、クラスの絆が深まったと思います。炎の体育会K.Gでは当日までの企画、準備を学友会本部が前先生他先生方の力を借りながら進めて行きました。しかし今回は、二年生からスポーツ大会委員を募集し、学友会本部とスポーツ大会委員が一緒に企画、準備、運営を行いました。学友会本部がこれまでの企画などの経験を活用して、スムーズに準備することができました。企画途中各クラスの椅子移動によって実施時間の短縮をしなければいけなくなりましたが、柔軟に対応することができました。また、当日の運営ではスポーツ大会委員の活躍が目立ちました。この企画の準備期間が学友会本部で活動した中で一番楽しかった時間でした。



(山崎 瑛介)

新副会長挨拶

二年A組 有光 慶記 学友会副会長に就任いたしました有光慶記です。私は、去年までグリーンクラブに所属し、歌って、歌って、歌う日々を過ごしていましたが、そんな私がなぜ学友会副会長になろうと思ったのか。それは、私が高等部で感じた「生徒と学友会長の間にある温度差とずれ違い」を自分がその生徒と学友会長の間に近づけていきたいと思ったからです。

私が二〇二四年度学友会活動でやりたい大型企画は、二〇二三年度に行った「炎の体育会K.G」のような体育会企画、文化祭期間に行った「友ゲッチュ企画」の主に二つです。この二つの企画に共通することは「縦の繋がりを意識している」ということです。部活動での先輩後輩関係はあったとしてもそれ以外では、実際にこの一年でどのようなことをしていくのかという点ですが、まず一つは、「現在存在する『意見箱』」をより生徒が学友会に意見を伝えるやすい形にする」というのを選挙時に公約に掲げ、それを一年かけて実現させたいです。次に二つ目は「縦のつながり」を、ただ行事だけでなく、日常にもそのつながりを持てることです。昨年度の学友会では、「炎の体育会」などの「行事」を通じて「縦のつながり」をこの高等部に持たせようとしていたのですが、それが私は「行事」の中だけのものに感じ、またその行事内でも「縦」のつながりを深めることができていたかと言われれば、どうしても不十分で私はグリーンクラブにいたの

(山崎 瑛介)

クラブ活動報告

◆運動総部◆

◆サッカー部◆

全国大会出場、Aチームはプリンスリーグ二部昇格、Bチームは県リーグ二部昇格を目標に掲げて活動しました。



(主将 岸本 晴人)

◆男子バスケットボール部◆

十一月に行われた全国高校選手権大会県予選において、準決勝にて育英高校に敗れたものの三位決定戦で尼崎双星に勝ちました。

◆女子バスケットボール部◆

一年十一人、二年九人で毎週五、六日練習しています。生徒自身が練習メニューを考え、互いにアドバイスを声を掛け合いながら練習を行っています。

◆陸上競技部◆

【夏休み以降の主な試合結果】◎県ユース(一、二年別)大会 男子四×四〇〇m R六位

◆野球部◆

甲子園出場を目標に日々練習を頑張っています。スローガンとして全員野球を掲げ、チームメイトと時には注意しあっています。



(主将 坂田 知世)

◆水泳部◆

◎高校総体 男子総合四位、女子総合五位 ◎インターハイ(北海道) 男子一〇〇m・二〇〇m 青泳ぎ 田中 秀路 出場

◆ラグビー部◆

【執】をスローガンに掲げ、花園出場へ向けて活動してきました。春の全国選抜大会や夏の七人制ラグビー全国大会、オーストラリア遠征などに貴重な経験をさせていただき、花園出場の目標を達成することはできませんでしたが心を一つに戦えました。

◆柔道部◆

二年正井を中心に男子十名、女子十二名の新しいチームで日々活動中です。八月阪神夏季大会、九月阪神新人戦、十月私学大会、十一月の県新人戦に出場しました。

◆男子バレーボール部◆

三年六人、二年十人、一年十七人で顧問の福嶋・豊嶋先生と外部コーチの指導のもと、新チームとして練習に取り組んでいました。

◆女子バレーボール部◆

六月から新チームが始まりました。夏の大会では勝ち進むことができませんでしたが、部員全員がもっと上手くなりたいと強く思い、たくさんの方々の指導にも恵まれ、秋のリーグ戦では優勝、市内大会三位、新人予選では県大会出場を決めることが出来ました。

◆テニス部◆

女子五〇m・一〇〇m自由形 木村 陽香 出場 ◎国民体育大会(鹿児島) 一〇〇m自由形七位 木村 ◎ジャパンオープン(東京) 木村 出場



(主将 真鍋 優成)

◆卓球部◆

昨秋の新人戦で、田中、下門、青木がシングルス、下門・長谷川ペア、田中・吉田ペアのダブルス、男女団体、それぞれが県出場を果たしました。

◆剣道部◆

◎近畿総体 個人ベスト八 本郷・宮野 ◎全国高校総体 本郷 出場 ◎阪神新人大会 五郎川 三位 森下 ◎新人大会 男子個人ベスト八 五郎川 女子個人ベスト八

◆剣道部◆

男女ともに団体ベスト八 ◎新人大会 男子個人ベスト八 五郎川 女子個人ベスト八

◆宗教総部◆

◆宗教部研究班◆

今年度の研究班はクリスマス文化をテーマに研究しました。世界のクリスマス伝統料理を作り、専門知識を持つ方を講師に招いて勉強会を開きました。



(主務 安岡 和輝)

◆サービスリーダーズ◆

応援活動をはじめ、文化祭でのステージなど多くの経験をさせていただけですが、本戦一回戦で相生学院高校に敗れ、五位に終わりました。男子はインターハイ団体出場、女子は県大会本戦一回戦突破の目標を掲げて活動します。

◆吹奏楽部◆

「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。吹奏楽コンクールで西阪神地区大会金賞、県大会は銀賞を受賞しました。

◆文化総部◆

「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。吹奏楽コンクールで西阪神地区大会金賞、県大会は銀賞を受賞しました。

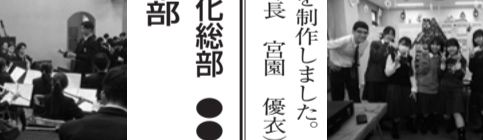
◆吹奏楽部◆

「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。吹奏楽コンクールで西阪神地区大会金賞、県大会は銀賞を受賞しました。

◆宗教総部◆

◆吹奏楽部◆

「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。吹奏楽コンクールで西阪神地区大会金賞、県大会は銀賞を受賞しました。



(主務 中西 さくら)

◆映画部◆

ひたすら映画を観賞しています。映画館で一緒に観た作品は「アントマン&ワスプ/クワントマニア」、「名探偵コナン/黒鉄の魚影」、「ザ・フラッシュ」、「君たちはどう生きるか」、「ミッシェル・オニオン」などです。

◆ESS部◆

一年十一人、二年七人、三年十三人の計三十一人で活動してきました。仲良く楽しく英語力を向上させることをモットーに活動に取り組んでいます。

◆数理学部◆

文化祭で数学謎解きと淹れ茶を企画しました。Webサイトを用いて謎解きを配信することで、多くの方に楽しんでもらえました。

◆写真部◆

県総合文化祭では二年小畑、竹前、橋本、三宅、一年杉浦、寺西、間の七名が阪神地区予選で入選し、県本選へと進みました。

◆美術部◆

二年一名、一年三名計四名で今年度活動してきました。油絵の個人作品制作を中心に、部員それぞれ二つずつ作品を描き上げました。

◆グリークラブ◆

一月二十一日に関西学院中 央講堂にて定期演奏会「ファミリコンサート」を開催しました。



(副部長 米谷 真帆)

◆社会部◆

社会部クイズ班 早押しクイズの舞台で活躍することを目標に、日々知識の蓄積や練習に勤しんでいました。

◆コンピュータ部◆

ロボカップジュニア関西ブロック大会のサッカロボ部門にて、ロケットウェイト部門にて、ロボット班の三年河野と二年奥山が奨励賞を受賞しました。

◆数学部◆

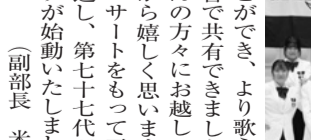
文化祭で数学謎解きと淹れ茶を企画しました。Webサイトを用いて謎解きを配信することで、多くの方に楽しんでもらえました。

◆ESS部◆

一年十一人、二年七人、三年十三人の計三十一人で活動してきました。仲良く楽しく英語力を向上させることをモットーに活動に取り組んでいます。

◆社会部茶道班◆

留学生のアリッサさんを含めた三十一人で活動してきました。文化祭や国際交流の場面でお点前を披露するために練習を続けてきました。



(部長 川岸 蒼彰)

◆美術部◆

二年一名、一年三名計四名で今年度活動してきました。油絵の個人作品制作を中心に、部員それぞれ二つずつ作品を描き上げました。

◆コンピュータ部◆

ロボカップジュニア関西ブロック大会のサッカロボ部門にて、ロケットウェイト部門にて、ロボット班の三年河野と二年奥山が奨励賞を受賞しました。

◆数理学部◆

文化祭で数学謎解きと淹れ茶を企画しました。Webサイトを用いて謎解きを配信することで、多くの方に楽しんでもらえました。

◆ESS部◆

一年十一人、二年七人、三年十三人の計三十一人で活動してきました。仲良く楽しく英語力を向上させることをモットーに活動に取り組んでいます。

各学年一年間の歩み

一年生

Festina lente ゆっくり急げを学年目標としてスタートした一年生は、歩みはゆっくりでありながらも、焦ることなく着実に学校行事を一つ一つこなし、充実した学校生活を送ってきました。



コロナ禍の制限から解放され、校外HRでは高校生活で初めての宿泊行事を経験し、教室の中では味わえないひと時を級友達と過ごすことができました。二期は学校行事が自押しで、炎の体育会KGでは学年を超えての交流を味わい、文化祭期間ではスポーツ大会とクラス展示でクラスの絆を深めました。HRや中休みを使った人権プログラムでは、学年とクラス単位でいじめや性の多様性などの社会課題について掘り下げた探究プログラムでは、体育館で九クラス合同でチームビルディングに繋がるワークに挑戦し、さらにHRクラスで担任の先生と一緒にSDGsカードゲームを体験して考えて行動を起こすことを学びました。三期は二年生に向けて、地域探究の下地を整えていくため、様々な取り組みが待っています。二年生ではクラス替えもあり、この三期は授業やHRだけでなく、進路講演会や遠足などの学年行事を通じて、級友たちの時間を楽しんで、交流をさらに深めていってほしいと思います。そして学年として培った団結力を、コース別の修学旅行を中心とする様々な二年生の学校行事の中で、大いに発揮してくれることを期待しております。

二年生

「光」二年生の学年目標です。高等部内において自身で輝きを感じ、「光」を放つ存在として充実した毎日を送ってほしいという想いで、新入生を四月に迎え先輩にもなった皆さんは遅くも見えませんでした。六月「ソーシャル探究プログラム」の締めくくりとして近隣の六市に分かれ訪問、それぞれの班からのプレゼンテーションを聞き、学年最優秀班も自分たちで決めました。遠足では、全ての行動を自分たちで決めて散策する姿に担任団は心強くも見えました。九月「炎の体育会KG」として二年生のメ



九月六日、神戸グリーンアリーナで学友会企画の「炎の体育会KG」が行われました。七月からの延期、二期期始業式から二日後の実施、しかも初めての行事でしたが、三年生をクラス毎に縦割りにし、高等部全体の親睦を深めるという目標を十分に達成できたと思います。司会、進行実況はもちろん、高三から約六〇名が当日スタッフとして関わり、縁の下力持ちとしても活躍しました。



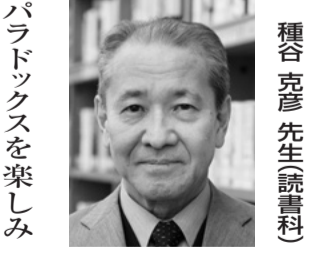
十月十一日のスポーツ大会、文化祭期間は高校生活最後の大きな学校行事となり、今年度は四年ぶりに全生徒徒がチャペルに集結し、開会式、校内ステージから文芸「器楽・声楽・ダンス」など四月から取り組み始めたとは思えない、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。歓声あり、笑いあり、

退職される先生方

デルミンダニエル先生 (宣教師・英語科)



一九九九年五月に私はカナダの大学院を終えて、自分の育った日本に帰ってきた。帰国する前に、まず考えたのは妻と一歳半の娘と、そしてお腹の中にいた息子との生活のことだ。大学院で聖書の原語であるヘブライ語とギリシア語を研究し、将来は牧師になりたいと思っていた私だが、とにかく収入を得るためには英語を教えるのが手取り早い。そんなことを思っていた時に、関西学院高等部でATTEを募集していると聞き、応募し面接に行き、高等部に初めて足を踏み入れた。しかしその時は残念ながら不採用。仕方がないので、英会話スクールの仕事を始めた。



また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

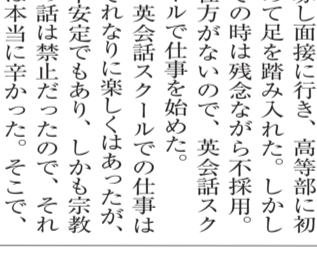
留学生



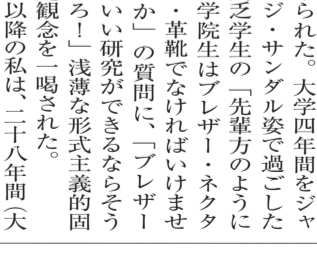
当に離れたくないことに気づき始めています。朝が早く、甲東園からの率直に言うてきつい上り坂を歩くような高校時代に戻れて嬉しいとはあまり思っていないかもしれませんが、それは決して忘れられない経験の一部になりました。僕は関西学院で本一、二冊を丸々埋めるのに十分な知識と経験を得ました。それは必ずしも授業からだけではなく、主に出会った人々からでした。関西学院のすごいところは、多様な興味や趣味を持った人たちが一堂に会し、個性豊かな才能やアイデアがぶつかり合っていることです。ここで経験を私に与えてくれたすべての人に感謝しています。本当に有難うございました。



十二月に通常授業、学年末の試験を終え、一月は三期プログラムを行いました。卒業論文のクラス内発表では限られた時間ではありますが、全員がパワーポイントなどに内容をまとめ、プレゼンをしました。最後にクラス代表を決め、チャペルにて学年全員の前で発表。個性あふれる内容で、三年間の学びの締め括りにふさわしいプログラムとなりました。



「What is Kwanssei?」 毎朝、駅での広告を見ました。初めは「あれ? 学校のことにじゃないか」と思い、五ヶ月くらい考え続けました。「クワンセイは何だろう? クワンセイ学院は私の学校だね。クワンセイ学院はアリッサの友達といつもいる場所だね」と思うようになりました。今はちょうど十ヶ月経ちました。「アリッサ、クワンセイは何だろう?」 答えが分かりました。クワンセイ学院は学校だけじゃありません。クワンセイ学院は場所だけじゃありません。クワンセイ学院はアリッサの「一番好きな場所」です。「一番好きな場所」です。クワンセイは私です。私の友達や、先生も。私達はクワンセイです。先生達、生徒の皆さん、ありがとう。クワンセイは本当に素晴らしい場所です。高かったです、あなた達がいってくれたからです。日本でも、外国でも、Stay Kwanssei!

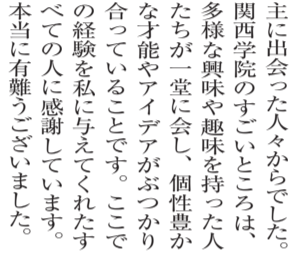


「批判されない論文なんか書くな!」四十三年前の四月、大学院最初の講義で恩師に喝破された。日本固有のムラ社会風土に、自らの意見を披瀝できずにいた心に刺さった。阿波根昌鴻の「平和の最大の敵は無関心」(ピーススタデイ)を彷彿とさせる。確かに研究者最大の屈辱は、批判ではなく黙殺である。他にも多くの逆説を投げ掛けられた。大学四年間をジャージ・サンダル姿で過ごした貧乏学生の「先輩方のように大学院生はブレザー・ネクタイ・革靴でなければいけないか」の質問に、「ブレザーでいい研究ができるならそうしろ!」浅薄な形式主義の固定観念を一喝された。

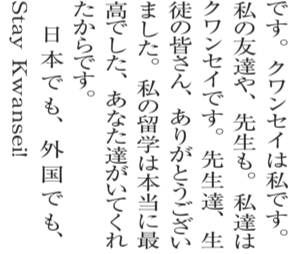
我々ロイロボーイズ三期生は二〇二三年六月上旬から活動を開始しました。そのメンバーの中にはダンス経験者も一人もいませんでした。文化祭やオープンハイスクールでの公演を経験し、集大成として迎えたのがロイロボーイズ五周年記念公演です。この公演は演者と裏方を合わせ総勢百名にのぼり、今まで経験したどの公演よりも壮大なものに感じました。学年や部活動、性別の隔たりを越えて一体となれる高等部の魅力を最大限に表現できた素晴らしいステ



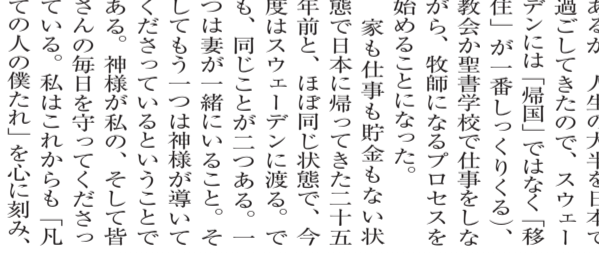
「光」二年生の学年目標です。高等部内において自身で輝きを感じ、「光」を放つ存在として充実した毎日を送ってほしいという想いで、新入生を四月に迎え先輩にもなった皆さんは遅くも見えませんでした。六月「ソーシャル探究プログラム」の締めくくりとして近隣の六市に分かれ訪問、それぞれの班からのプレゼンテーションを聞き、学年最優秀班も自分たちで決めました。遠足では、全ての行動を自分たちで決めて散策する姿に担任団は心強くも見えました。九月「炎の体育会KG」として二年生のメ



「What is Kwanssei?」 毎朝、駅での広告を見ました。初めは「あれ? 学校のことにじゃないか」と思い、五ヶ月くらい考え続けました。「クワンセイは何だろう? クワンセイ学院は私の学校だね。クワンセイ学院はアリッサの友達といつもいる場所だね」と思うようになりました。今はちょうど十ヶ月経ちました。「アリッサ、クワンセイは何だろう?」 答えが分かりました。クワンセイ学院は学校だけじゃありません。クワンセイ学院は場所だけじゃありません。クワンセイ学院はアリッサの「一番好きな場所」です。「一番好きな場所」です。クワンセイは私です。私の友達や、先生も。私達はクワンセイです。先生達、生徒の皆さん、ありがとう。クワンセイは本当に素晴らしい場所です。高かったです、あなた達がいってくれたからです。日本でも、外国でも、Stay Kwanssei!



「What is Kwanssei?」 毎朝、駅での広告を見ました。初めは「あれ? 学校のことにじゃないか」と思い、五ヶ月くらい考え続けました。「クワンセイは何だろう? クワンセイ学院は私の学校だね。クワンセイ学院はアリッサの友達といつもいる場所だね」と思うようになりました。今はちょうど十ヶ月経ちました。「アリッサ、クワンセイは何だろう?」 答えが分かりました。クワンセイ学院は学校だけじゃありません。クワンセイ学院は場所だけじゃありません。クワンセイ学院はアリッサの「一番好きな場所」です。「一番好きな場所」です。クワンセイは私です。私の友達や、先生も。私達はクワンセイです。先生達、生徒の皆さん、ありがとう。クワンセイは本当に素晴らしい場所です。高かったです、あなた達がいってくれたからです。日本でも、外国でも、Stay Kwanssei!



「批判されない論文なんか書くな!」四十三年前の四月、大学院最初の講義で恩師に喝破された。日本固有のムラ社会風土に、自らの意見を披瀝できずにいた心に刺さった。阿波根昌鴻の「平和の最大の敵は無関心」(ピーススタデイ)を彷彿とさせる。確かに研究者最大の屈辱は、批判ではなく黙殺である。他にも多くの逆説を投げ掛けられた。大学四年間をジャージ・サンダル姿で過ごした貧乏学生の「先輩方のように大学院生はブレザー・ネクタイ・革靴でなければいけないか」の質問に、「ブレザーでいい研究ができるならそうしろ!」浅薄な形式主義の固定観念を一喝された。

「批判されない論文なんか書くな!」四十三年前の四月、大学院最初の講義で恩師に喝破された。日本固有のムラ社会風土に、自らの意見を披瀝できずにいた心に刺さった。阿波根昌鴻の「平和の最大の敵は無関心」(ピーススタデイ)を彷彿とさせる。確かに研究者最大の屈辱は、批判ではなく黙殺である。他にも多くの逆説を投げ掛けられた。大学四年間をジャージ・サンダル姿で過ごした貧乏学生の「先輩方のように大学院生はブレザー・ネクタイ・革靴でなければいけないか」の質問に、「ブレザーでいい研究ができるならそうしろ!」浅薄な形式主義の固定観念を一喝された。